



子どもたちがニュージーランドのお菓子作りに挑戦



市国際交流員デミアン・オケインの国際理解講座「デミアンとニュージーランドのお菓子を作ろう」が3月29日、総合福祉センターで開催され、小学生とその保護者ら18人が参加しました。

これは、市国際交流協会が毎年行っているもので、今回はデミアンの故郷、ニュージーランドの家庭で親しまれて

いるビスケット「アンザック」と「アフガン」を作りました。

子どもたちは、慣れない手つきながらも小麦粉にバターや砂糖を混ぜて練りこんだり、形を整えたりするなど、楽しそうに挑戦。上手に焼き上がったビスケットを食べた子どもたちは、「甘くておいしい。今度は家でも作ってみたい」と笑顔を見せていました。



本市で4年ぶりに空知地区民謡競演大会が開催される

平成26年度空知地区民謡連合会民謡競演大会が4月6日、市民会館で開催されました。

この大会は、今年6月以降、札幌市など3か所で部門別に開催される全道民謡決勝大会の空知地区予選を兼ねて行われ、今年で52回目。本市では4年ぶりに開催されました。

大会には、本市はじめ滝川市、深川市など空知管内各地から117人が参加し、自慢のノドを披露しました。

民謡歴50年以上の大ベテランに交じって、4歳の幼児や小学生などもステージに立ち、大人顔負けの歌を披露する子もおり、会場は終日にぎわっていました。



北日本自動車大学校と星槎大学で入学式が行われる

4月10日、専門学校北日本自動車大学校の入学式が同校で行われました。

本市上芦別町の芦別工業団地に開校以来30回目。また、4年制課程を設置した大学校としては7回目となりました。

本年度新たに入学したのは14人で、二級整備士課程からボデーリペア科への編入2人を加え、計16人。

式では、齋木修二校長が「プロの技術習得に加え、人間性も磨くよう、厳しい中にも楽しく充実した学生生活を送ってほしい」と式辞を述べました。

これに対し、新入生を代表して寺田将太さん（芦別高校出身）＝写真＝が「所期の目的を達成するため、誠心誠意努力します」と誓いの言葉を述べました。



本市緑泉町の旧頼城小学校校舎にキャンパスを置く通信制の星槎大学・大学院入学式が4月19日、行われました。

式は、神奈川県箱根町にある箱根キャンパスを主会場に、本市や大阪市など計5会場をテレビ通信で結んで行われました。

今年度入学したのは、全国で大学院生29人を含む1,164人。このうち、芦別キャンパスでは新入生4人が式に参加しました。

同大学は平成16年に本市で開学、昨年10周年を迎えました。式では井上一学長が「共に生きることを科学する『共生』の理念を軸に、机上だけでなく、実践を通して学んでいこう」と式辞を述べました。



訂正

広報あしべつ4月号9ページ、まちの話題「木質チップボイラーが稼働開始」の記事中、「芦別木質バイオマス開発共同組合が導入を進めていたもので、」とあるのは、「市が導入を進めていたもので、」の誤りでした。おわびして訂正します。